

どりーまあ通信

どりーまあサービス
〒770-8051
徳島市沖浜町北川726
☎0886-26-3237
発行責任者 山口 浩志
1998年 6月

広げよう たすけあいの輪 住民互助型団体 どりーまあサービス発足



いつでもお迎えに
まいります！

宮本武蔵は「静なる時も心は静かならず、なんとはやき時も少もはやかず…」と「五輪書」の中で、自然体の極意を説いております。

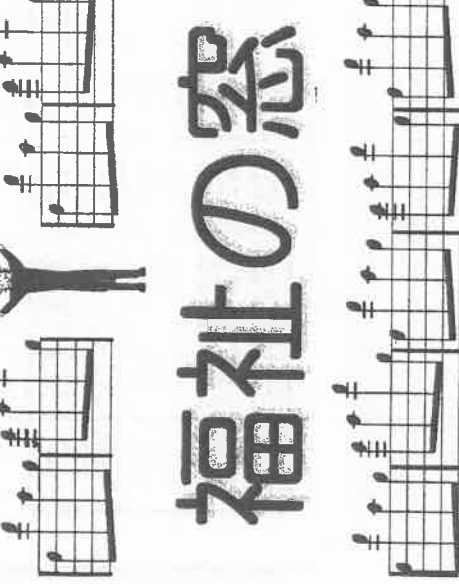
在宅で困っておられるお一人お一人を、人から人へ家族から家族へ、また地域から地域へのたすけあい活動で支えていく、という人と土地に福祉社会の実現を目指して努力する決意を新たにいたしました。

この度、4月より住民互助型団体として一念発起いたしました。発足にあたり大阪府堺市より泉北たすけあい会長・佐藤秀次先生をお迎えし発起人会を開催いたしました。会では今後の団体のあり方についての基本理念を、賛同者の方々と共に拝聴いたしました。

静動一如
山口 浩志

税金のしくみでないものをつくっていく。すなわち、市民自ら自前の知恵と努力で社会を支えていく、ということがなくてはならない。このことは行政の福祉のすき間をうめていくことではない。市民の生まれながらに生かす。行政の批判をするのではなく、共存することにより、ある一つの緊張した関係を保つことができる。ボランティアな活動とは、レジャー・仕事・家族の生活等の二こまの

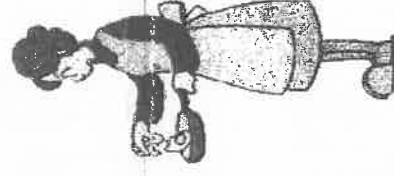
- 一、はじめに
市民や国民、福祉に関心のある方たちにとって今が大きな転換期である。二十一世紀になって「役立つものになった。」と思えるようなしくみをつくっていく必要がある。
- 二、たすけあい社会のしくみ



福祉の窓

ふれあいの中に活動の原点があつて、その人の生活や人生に入り込まないことが鉄則である。6段階のジェネレーションに分かれている人たちは、年齢的な違いが激しいが、「不安感」という共通意識がある。その「不安」をつかみとっていくことが活動のポイントであつて、それ以外はそれぞれの世代間で意見の衝突がある。

どりーまあサービスも「静なる心」で在宅の方と接し状況の変化に即座に「動」として対応できるような団体を目指してまいります。



どりーまあサービスでは、協力会員を募集しています。仕事や、家庭とのふれあい時間以外に地域の人たちのために時間を使って下さる方、在宅福祉に関心のある方、お気軽にお電話して下さい。

個人のご都合のよい時間に活動していただくことができます。
『年齢・性別は問いません。』
『一度やってみて結果を出したい方』
大歓迎です！

一人一人の能力を上手に駆使できるエネルギーをつくっていく。つまり、一番最初にやってみた人が喜んでもらえるようなステージをつくることであり、「人を生かす」ことである。



ボランティアは個人の集積であつて、団体の功績ではない。そのことを組織としてどうプレゼンテーションしていくかが問われる。参加してその人が自ら変わっていき、その広がりを持って意識が高まっていくのが理想である。

一回でも2回でも、たくさんの人にたすけあいの原理を経験してもらふことが大切。ボランティア活動によつて、器量も広がるし、人生が生き生きとして見えてくることを覚えていつてほしい。

本当の身内の助けを必要としているのに、穴があいている家庭、そこに援助の手をさしのべなければならぬステージがある。人間の『生きていきたい。』という気持ちをサポートするしくみができていない現代、自分の家で人生を生きていくことがどんなに大切かを信じて実践していつてほしい。

ひるば

利用者のみなさんからひとこと
お聞かせいただきました。

『利用者の声』

一人暮らしの中で、いつでもお願いしたら助けていただける——それが一番の安心感につながって、そのせいか体調も良くなったようです。有り難くて、このことを一人でも多くの人に伝えたい気持ちです。

(宮本千代子さん)

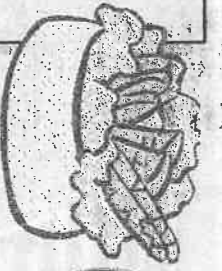
手づくりデイサービス

手作り

楽しいをう
過ごしまし
一緒に楽し

日時：毎月第2日曜日
10:00～15:00
場所：助三本松集会所
お気軽にご参加ください。

めとり
快速



み

ん

な

の

「さらだ」とは、何でも混ぜ合わせ、出来上がりは新鮮で誰からも親しまれ、目立たないけれど生活の片隅にはいつもなくてはならない心温まる存在であるように、どの願いを込めて名付られましたか。

文字通り『手作り』をモットーとしておりますので、参加者は高齢者・ボランティアも対等な立場で、その時その時を何をしたいか、どういうふうに通じたいか等、参加者全員で話し合いながらすすめています。

一人一人の意見や提案を生かして自分たちの手で作り上げていく会です。

月一回の会で、派手さはないけれど、終わつたあと何か心に残るようなひとときであるように残しながら、運営のお手伝いをしていきます。

どうぞ、お気軽にご参加下さい。

徳島大学歯学部4回生
守安 木聖さん

まり、それぞれ世間話をするのですが、その会話、人との対話、意思疎通をとることがどれだけ大切なものかを改めて感じました。

この頃の学生は、同年代の人達と接している時間が多いせいか、高齢社会・福祉のあり方の難しさなどを感ずることも少ないように思います。また、一度しか参加していませんが、これから歯科医療に関わる私たちがとつて大学の授業からだけでは得られないことを学ぶことができました。

多種多様な福祉のサービスクラスがあり、いろいろな方々と会話ができ、いろいろな年齢層の人達が集まっています。

●車もよう乗らんし、どなにしようかと
思う時に、時間も気にせんとすぐにつ
んでいってくださる。困ってる人の味
方なあと 생각합니다。
(七田安雄さん・房子さん)

●今どこ、いろんな所へ送っていた

●将来あるべき理想的な一つの方向を示
し、どのように思う。まあ規模はまだ小
さいけど団体が成功するかせんかは、
会員一人一人にかかるところのように思
う。
(池田梅一さん)

●幅広くやってくれるし、おじさんが
休めるので助かっています。通院や送
迎は男の人が安心できる。夜中も急に
調子が悪くなるけん、そばでおつても
らえるだけで安心やなあ。

(田中花子さん)

●公的な介護は制約がありすぎるが、私
のところは、家のことや送迎とか、小
回りがきくというか、細かいところま
でしてもらえると、時間に合わせて協
力してもらえると、よかつたと思っ
ています。
(宮本和博さんの奥様)

活動報告 (時間数)

	1月	2月	3月	4月	5月	計
介護	21	49	77	83.5	230.5	
家事	24	29	36	43	168	
移送	20	16	41	12	59	148
計	44	66	126	132	178.5	546.5

1998年5月31日現在

年	日	内容	参加	
H9年	10/29(水)	広島市シルバーサービス展	参加	
	H10年	1/18(日)	ケアマネージメント研修 (県教育会館・山口)	
		1/20(火)	同	上
		1/21(水)	同	上・村上 上
		1/22(木)	同	上・村上 上
		2/21(土)	地域身体障害者福祉連絡調整会議「ア・サ・パー」(総合福祉センター 山口浩志・浩子) 出席	
		2/22(日)	泉北たすけあい 研修 (山口浩志・敏夫)	
		3/14(土)	介護研修 (教育会館・山口浩志)	
		3/21(土)	広島市普及センター見学 (山口浩志)	
		3/30(月)	さわやか徳島 デイサービス (お花見) 講師参加	
4/18(土)		加西市 高橋伸幸氏 (精神薄弱者更生施設希望の郷 地域交流企画室長)		
4/25(土)	1泊2日実地研修に来県			
5/24(日)	さわやか徳島 デイサービス 参加			
5/31(日)	自閉症協会 徳島県支部総会 保育ボランティア参加 (鳴教大付属養護学校 山口浩志)			

ホエム

負ける練習

受け身・負ける練習
相田 みつを

柔道の基本は受け身
受け身とは投げ飛ばされる練習
人の前で叩きつけられる練習
人の前でこころぶ練習
人の前で負ける練習です。

つまり、人の前で失敗をしたり
恥をさらす練習です
自分のカッコの悪さを
多くの人の前で
ぶざまにさらけ出す練習
それが受け身です。

長い人生には
カッコよく勝つことよりも
ぶざまに負けたり
だらしなく恥を
さらすことのほうが
はるかに多いからです。

そして
負け方や受け身の
ほんとうに身についた人間が
人の世の悲しみや
苦しみに耐えて
ひと(他人)の胸の痛みを
心の底から理解できる
やさしく暖かい
人間になれるんです。

